

前回（第1回会議）会議の要旨

AI オンデマンド交通 の社会実験そのものの 意義や必要性について

社会実験実施計画の 具体的課題について

主な意見の概要

- デマンド交通そのものは、すでに実施済の事業であり、改めて社会実験をする必要があるのか
- AIオンデマンド交通ありきの議論ではないか
- 提案募集の期間が1か月と短く本当に民間を巻き込んだと言えるのか
- 特定事業者だけを対象としているのではないのか
- 大阪市が事業費を補填するのではないのか
- タクシーに事業が似ていることからタクシー事業者への影響はどう考えるのか

- 車いすなどのバリアフリー対応車両にすべきではないか
- デマンド交通の対象区域を拡大してほしい
- 感染症対策はどのように取り組むのか
- コロナの影響で社会実験の開始時期は見直すべき
- 電話予約時間を拡大してほしい
- 乗降場所を増やしてほしい
- 運賃の割引をしてほしい
- 運賃が安すぎるのではないのか
- 収支について、どのように考えているのか
- 今回の社会実験の評価指標はどうするのか